



Toyo University supports the Sustainable Development Goals

# 2023年度講師派遣

東洋大学の講義を全国各地にお届けします

生涯学習支援  
プログラム

SDGs達成学習支援  
プログラム

研修支援プログラム

東洋大学講師派遣事業は、SDGs17の国際目標「4質の高い教育をみんなに」を全体の共通目標としております。

4 質の高い教育を  
みんなに



東洋大学

# ごあいさつ

東洋大学では、公開講座の提供や講師派遣による生涯学習・研修支援プログラム、社会人へのリカレント教育、地域づくりにおける協働などによる社会貢献活動に力を入れております。中でも、ここにご紹介する講師派遣は本学ならではのユニークな特徴を持っています。

第1に、学外への講義提供が、本学の前身である私立哲学館から続く伝統の上に成り立っていること。第2に、提供している18領域500以上の講演テーマが、2015年から国連が推進している「持続可能な開発目標：SDGs」と高い親和性を有しているということです。

まず学外での講演の歴史を紐解いてみましょう。大学教育を構外に普及しようとする動きは、19世紀のイギリスで、教師や家庭教師（ガバネス）として生きていた女性たちが、ケンブリッジ大学の教員であったジェームズ・スチュアートに大学教育と同じ講座を頼んだことにひとつの起源を求めることができます。発達しつつあった鉄道網を利用して各地で開催された講演は、大学拡張講座（ユニバーシティ・エクステンション）として、イギリス国内外へと瞬く間に広がりました。また郵便制度の発展は、大学へ通うことのできない人々に「講義録」を届ける通信教育（遠隔教育）の発達をも促しました。

こうした19世紀における大学教育拡張の状況は、本学の創立者井上円了先生も知るところとなりました。円了先生は私立哲学館創立の前年に当たる1886年から、通信講学会のメンバーとして「心理学」のテキストを書き始めています。このテキストは当時中学校や師範学校の教員検定試験を受けようとしていた地方の人々を主な対象としていました。同時に、女子教育への必要性を感じていた円了先生は、成立学舎女子部講義録にも執筆をしています。さらに、哲学館創立後には館外員制度を作り、当時としてはかなり安い料金で講義録を提供したのです。

民衆の教育こそが近代的な国家建設に必要であると考えた円了先生は、人々が物の見方や科学的な考え方をより深めていけるように奮闘しました。巡回講演は全国60市2,198町村で5,291回を数え、130万人以上の人々が講演を聴いた、との記録が残されています。円了先生は講義に出向いた先で敬愛され、哲学館が災害に遭った際には、そうした人々からも修復や新築のためのご支援を頂いたとのことでした。

それから東洋大学は大きな発展をとげ、全国有数の学生数を誇る総合大学になりました。しかし、創立者の志を受け継ぎ、ご支援を頂いたことを忘れないために、創立者没後80年を記念して1999年から「御礼」の講師派遣を開始したのです。講師派遣は2,400回を超えましたが、まだまだ円了先生の記録には及びません。今後もインターネットを駆使したリカレント教育の推進を図る一方で、それと共存する形で、皆様のもとへ講師を派遣し研究成果をお届けする方法を守ってまいりたいと考えております。

第2の特色につきましては、次ページにおいて「東洋大学とSDGs」についての概説を行いますので、合わせてご確認いただければ幸いに存じます。本学では18領域500余講座を提供していますが、そのテーマはSDGsの目標と重なるものも多くあり、地球規模の課題に応えるべく、本学が有する優れた「知」を皆様にお届けできると考えるものです。

このような特徴を有する本学の講師派遣事業を大いに活用していただければ嬉しく思います。



東洋大学 学長 矢口悦子



**対象** 教育委員会、生涯学習・社会教育等の各種団体が開催する講演会および学校のPTA等で企画する講演会等

**特色** 講師の講演料・交通費・宿泊費は本学が負担



**対象** 全国の小・中・高等学校、特別支援学校

**特色** 講師の講演料・交通費・宿泊費は本学が負担



**対象** 企業、各種団体等で実施する研修会等

**特色** 交通費等は実費負担となりますが、リーズナブルな講演料

## 東洋大学とSDGs

東洋大学の創立者・井上円了は、学問は自己満足に終わるものであってはならない、その成果を応用し社会に役立てるのだからなければならない、と指摘しています。本学のあらゆる教育・研究活動は、すべて世のため、人のため、社会のために行われていくべきでしょう。今日、深刻な社会の課題は地球規模においてつながっており、本学の教育・研究活動はその地球社会を覆う諸問題の解決に向けてなされるべきです。現在、それらの課題を網羅したものとしては、国連で推進している「持続可能な開発目標」、SDGsがあります。このSDGsの根本理念は、「誰一人取り残されないように」(No one will be left behind) にあります。総合大学である東洋大学は知の拠点としてこのSDGsに積極的に取り組むことを通じて、地球の未来に大きく貢献する大学となることを目指します。すなわち、Globalizationが進んだこの現代社会において、真のHuman valueの実現を果たすべく、Creativityを発揮して、SDGsの観点からInnovationを現代社会に巻き起こす大学を実現してまいります。



Toyo University supports the Sustainable Development Goals



東洋大学講師派遣事業および公開講座は、SDGs17の国際目標「**4 質の高い教育をみんなに**」を全体の共通目標としております。なお、**4**以外の目標にも合致するテーマについては、別途、テーマ一覧に目標アイコンを表示しております。

# 実施要領

- 高校生対象の「授業体験（出張講義）」は、入試課が窓口となります。
- 本学雨水会又は校友会支部等のご講演は、各会本部事務局へご相談ください。

	生涯学習支援プログラム SDGs達成学習支援プログラム	研修支援プログラム												
事業内容	<p><b>生涯学習支援プログラム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育委員会、生涯学習・社会教育等の各種団体が開催する講演会および学校のPTA等で企画する講演会等へ本学の講師を派遣します。</li> </ul> <p><b>SDGs達成学習支援プログラム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●全国の小・中・高等学校、特別支援学校におけるSDGs目標達成のための教育を推進するため、本学専任教員を派遣し、関連事業を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●企業、各種団体等で実施する研修会等へ本学の講師を派遣します。</li> <li>※教職員等、専門職を対象とした講演会は研修支援プログラムをご利用ください。</li> </ul>												
申込期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2023年4月3日（月）～10月16日（月）</li> <li>※開催予定日の2ヵ月前までに申込ください。9月・10月開催の場合は、7月7日（金）迄に申込ください。</li> <li>※期間外の場合は「講師派遣」制度を利用できません。</li> </ul>													
派遣期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2023年6月1日（木）～12月15日（金）</li> <li>※5月中に派遣を希望される場合は別途ご相談ください。</li> </ul>													
派遣条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対面及びオンラインによる派遣を実施します。</li> <li>ただし、講師によってはいずれか選択できない場合がございます。</li> <li>●受講者となる皆様には配付資料等により必ず「本学社会貢献センター 講師派遣事業協力による開催」である旨、お知らせいただきます。</li> </ul> <p><b>生涯学習支援プログラム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●講演時間 50分～90分</li> <li>●最小受講者人数 30名以上</li> </ul> <p><b>SDGs達成学習支援プログラム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●講演時間 45分～60分</li> <li>●最小受講者人数 25名以上</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●受講料を徴収する講演会は、対象外。</li> <li>●1団体につき年間1回のみ、講師1名を派遣。</li> </ul>	<p>講師1名を派遣します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●講演時間 50分～90分</li> <li>●最小受講者人数 制限なし</li> </ul>												
諸経費など	<p><b>生涯学習支援プログラム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●講師の講演料・交通費・宿泊費等は、本学が負担いたします。</li> </ul> <p><b>SDGs達成学習支援プログラム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●講師の講演料・交通費・宿泊費等は、本学が負担いたします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●費用負担と支払い方法</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内 訳</th> <th>料 金</th> <th>算出基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講師派遣料</td> <td>3万円+税</td> <td>講師1名あたり一律</td> </tr> <tr> <td>交通費</td> <td>実 費</td> <td>講師の自宅または所属キャンパスより会場までの実費</td> </tr> <tr> <td>宿泊費</td> <td>12,000円</td> <td>宿泊を伴う場合のみ</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>●算出基準は、東洋大学の規定に準拠します。詳細はお問い合わせください。</li> <li>●講演終了後に請求書をお送りいたしますので、所定の口座へお振り込みください。</li> </ul>	内 訳	料 金	算出基準	講師派遣料	3万円+税	講師1名あたり一律	交通費	実 費	講師の自宅または所属キャンパスより会場までの実費	宿泊費	12,000円	宿泊を伴う場合のみ
内 訳	料 金	算出基準												
講師派遣料	3万円+税	講師1名あたり一律												
交通費	実 費	講師の自宅または所属キャンパスより会場までの実費												
宿泊費	12,000円	宿泊を伴う場合のみ												
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●講演会・研修会の案内、会場の準備（使用機器を含む）に関わる経費は、主催者側でご負担ください。</li> </ul>													

# 注意事項

- ご依頼の前に、必ずご一読ご同意のうえ、申し込みください。
- 申込後は、注意事項に同意されたものとして、取り扱いさせていただきます。

	生涯学習支援プログラム	研修支援プログラム
	SDGs達成学習支援プログラム	
講師やテーマのご希望に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>●講師派遣を専門とする教員はおりません。授業や教授会等と派遣依頼が重なった場合は学内行事が優先となります。(第1～第3希望までご記入いただく際は、別講師・別曜日をご記入ください。)</li> <li>●申込書にご記入いただいた第1～第3希望の講師・曜日の中で授業等を考慮し、調整いたします。第1希望の講師を派遣できない場合も多くございますので、ご了承のうえお申し込みください。</li> <li>●講師には年間の派遣上限回数がございます。毎年同一講師を選定することは避けてください。</li> <li>●一度依頼した講師、テーマ、日時を変更することは一切できません。講演内容についての適否の判断や会場施設の確保等を行ったうえで依頼してください。</li> <li>●講演テーマの内容は、本学HP講師派遣Webサイトに記載しておりますので、必ず事前にご確認ください。</li> </ul>	
申込に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前年度受講者数が派遣条件の人数を満たしていない団体への派遣は、検討させていただきます。</li> <li>●申込期間中であっても、当該年度予算上限に達した時点で受付を終了します。</li> <li>●3年連続でお申し込みされた場合、次年度はお休みいただきますので、予めご了承ください。 <b>(生涯学習支援プログラムのみ)</b></li> </ul>	—
派遣決定後から当日まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>●講師は、会場周辺に不案内です。最寄り駅からは、極力送迎をお願いいたします。</li> <li>●派遣決定後、講演内容や使用機器等の詳細な打ち合わせ、および当日の待ち合わせ等の調整については、主催者側が講師と直接行ってください。</li> <li>●Web型実施の場合は、主催者側がホストとなり、接続テストを含め、講師との調整を行なってください。</li> <li>●Web講義に関して、通信障害等により十分な講義が提供できなかった場合も本学での責任は負いかねます。</li> <li>●講演の記録(録音・録画)や他会場での同時中継等は、事前に申込書などで本学へ必ずご相談ください。当日会場講師への直接依頼はできません。</li> <li>●特に別段の合意をした場合を除き、講演に伴い生じる著作権その他知的財産権は、講師にあります。講演の内容を、他の目的・方法により利用される場合は、有償無償を問わず、講師の事前の許諾が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●終了後は、必ず報告書をご提出ください。</li> </ul>
中止や変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>●講師の急病等で派遣不能な場合は、代替講師の派遣などの措置を講じますが、調整がつかず派遣できないことがあります。</li> <li>●以下の事由にて、本学の判断で中止や変更する場合がありますが、変更等にて生じた損害等について、本学は責任を負いません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●講師の急病や事故等</li> <li>●講師の生命や身体の安全を確保できない恐れがある場合</li> <li>●交通機関の運休、災害等発生の恐れがあると発表された場合</li> <li>●本学の名誉を棄損する恐れがある場合</li> <li>●Web講義における通信障害</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●派遣決定後、主催者の都合により派遣中止となった場合、交通費等キャンセルに伴う実費を請求させていただきます。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本申込に関連して万が一紛争が生じ、訴訟の必要が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。</li> </ul>	

# お申込等の流れ

生涯学習支援プログラム

SDGs達成学習支援プログラム

研修支援プログラム



Web サイト内「講演テーマ一覧」より希望テーマを選択  
<https://www.toyo.ac.jp/social-partnership/csc/koza/haken/theme/>



開催予定日2カ月前までにWebサイト「申込フォーム」より申込  
<https://www.toyo.ac.jp/social-partnership/csc/koza/haken/Dispatch-form/>  
※お問い合わせ前にP7「よくある質問」をご確認ください

本学にて調整後、派遣可否の連絡 ※1～2週間程度かかります

開催当日の詳細について派遣講師と直接調整

本学からの見積額を確認

開催当日（実施）

終了後、1週間以内に  
報告書・アンケートを提出※

(SDGs達成学習支援プログラムはアンケートの提出は不要ですが、参加者の感想を報告書にてお寄せください。)

終了後、1週間以内に  
報告書を提出※

本学より送付する請求書に  
基づき講師派遣料等の支払い  
(請求日より1カ月以内)

※報告書・アンケートは  
Webサイトよりダウンロード



<https://www.toyo.ac.jp/social-partnership/csc/koza/haken/jissihoukoku/>

# よくあるご質問 Q&A

お電話でお問合せいただく前にご確認いただきますようお願いいたします

## Q1 申込方法はWebのみですか？

はい。いずれのプログラムも本学のWebサイトよりお申込みとなります。お電話やメール等でのお申込みは受け付けておりません。

## Q2 講演にかかる費用はどのくらいですか？

### 生涯学習支援プログラム・SDGs達成学習支援プログラム

原則無料です。講師の講演料・交通費・宿泊費は本学が負担します。ただし、最寄り駅より会場までが遠く公共機関がない場合は、送迎をお願いしております。また、講演会の募集案内、会場の準備（使用機器含む）等は主催者側で行っていただき、それに伴う費用もご負担ください。

### 研修支援プログラム

講師派遣料として1名あたり一律3万円+税、および交通費実費・宿泊費（必要な場合）をお支払いただきます。詳細はP4をご確認ください。その他、講演会・講義の案内、会場の準備（使用機器含む）等は主催者側で行っていただき、それに伴う費用もご負担ください。

## Q3 複数回申込みはできますか？

### 生涯学習支援プログラム・SDGs達成学習支援プログラム

いいえ。年に1回、講師1名の派遣となります。また、生涯学習支援プログラムの場合は、団体が異なっても同一市区町村の官公庁からのお申込みは原則年1回となります。

### 研修支援プログラム

はい。特に制限は設けておりません。

## Q4 当日の受講者数が少なくなっても講演の実施は可能ですか？

### 生涯学習支援プログラム・SDGs達成学習支援プログラム

最少受講者数（生涯学習支援プログラム30名、SDGs達成学習支援プログラム25名）以上の参加が必須条件となります。当日参加者が減る見込みがある場合は、条件を満たすよう募集人数を多く設定してください。

### 研修支援プログラム

はい。特に制限は設けておりません。

## Q5 毎年同じ先生に講演をお願いしたいのですが…。

同一講師の年間派遣回数が決まっているため、ご希望に添えない場合もございます。毎年同一講師を選定することはご遠慮ください。

## Q6 講演時間の指定はありますか？

### 生涯学習支援プログラム・研修支援プログラム

50分～90分の間であれば自由に設定していただけます。

### SDGs達成学習支援プログラム

45分～60分の間であれば自由に設定していただけます。

## Q7 希望テーマ・講師は複数記入しないとイケませんか？

講師の授業や校務により、必ずしも第一希望にならない場合があります。複数の講師又は複数の曜日を記載していただいた方がご希望の日程で開催できる可能性が高くなります。

## Q8 テーマは毎年同じものですか？

いいえ。テーマは毎年度更新されますので、本学Webサイトパンフレットをご確認の上、お申込みください。なお、記載している内容とかけ離れたテーマでの講演はできません。

## Q9 講師の派遣期間対象外（例：1～3月に実施）にA先生に講演依頼したい場合はどのような手続きになりますか？

講師派遣事業とは異なり、教員個人に対する依頼事項となります。よって、教員所属の学部Webページ等をご確認の上で、直接教員または学部教務担当課へお問合せください。なお、学部教務課の連絡先は、本学ホームページ「お問合せ窓口」の「02 学部の就学手続・進級手続・授業・履修・成績に関すること」に掲載されています。また、教員の連絡先は、インターネット等で公開されている場合もありますので、ご確認ください。

# 対面型の講師派遣について

主催者団体におかれましては、新型コロナウイルス感染症対策の取り扱いについては、本学Webサイトでお知らせいたしますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

## 対面講義時のマスク着用について

- 「マスクの着用」の考え方につきましては、政府より個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることとなりました。
- 主催団体にてご判断ください。
- 政府における「新型コロナウイルス感染症対策 基本的対処方針に基づく対応」は URL : <https://corona.go.jp/emergency/> をご覧ください。

## 中止又はWeb型へ切り替えとなる基準

今後の政府方針、感染拡大等が発生した場合には、本学の「感染防止計画」に基づき、中止又はWeb型での実施となります。

なお、Web型は、講師派遣申込時に主催者と本学（講師）の双方がWeb開講に合意したものに限り、ます。

※Web型は主催者側がホストとなり、接続テストを含め、講師と調整を行ってください。

※原則としてWeb型は、接続テストを含め、本学事務局は参加いたしません。

※上記の状況が解除された場合でも、対面型へ戻すことはいたしません。

※通信障害等により十分な講義が提供できなかった場合でも、本学での責任は負いかねます。

※今後の状況に応じて変更する場合があります。



# 2022年度利用者の方から寄せられた声

## 生涯学習支援

岐阜県  
各務原国際協会

### 講演テーマ

欧州連合（EU）統合の現在

### 講師

多田 英明（法学部 教授）



- 地方で、東京の大学の講義を直接受講できるというのは、とてもありがたい機会だと思いました。多田教授が一般市民向けにわかりやすく解説してくださり、また、受講者からの質問にも丁寧に答えて下さり感謝しております。
- 学びの機会を逃してしまった方が、この講座を受講して、また学びたいと思うきっかけになったと言ってくれたのが、とても印象的でした。

## SDGs達成学習支援

岩手県  
盛岡市立松園中学校

### 講演テーマ

共に生きる社会について考える

### 講師

中挾 知延子（国際観光学部 教授）



- 地方においては、現在においても学びの機会が平等とは思えないことがございます。そのような中、この事業によって生徒に質の高い学びの場をいただけたことに感謝いたします。
- 今回は世界に視野が広がるようなお話で、生徒たちはこれから先の自身の生き方についても希望をもてたようでした。

## 研修支援

埼玉県  
比企郡PTA連合会／  
東松山市PTA連合会

### 講演テーマ

たかがアニメの教育学  
—サザエさん、ちびまる子ちゃん、クレヨンしんちゃん—

### 講師

藤本 典裕（文学部 教授）



- 何気に見ていたアニメの中に親の目線、子どもの目線、家庭内での役割、親子の関係の在り方、子育ての方法などがとても奥深く表現されていることに驚きました。これから見る意識が変わりました。
- 講演という形で子供の教育論を聞くことがなかったので、色々な考え方があることに気づけて良かったと思います。自分自身の教育に役立てたいと思います。

※団体名・講師の所属や職位等は講師派遣当時の表記です

# 2023年度 講師派遣 テーマ一覧

〈生涯学習支援〉 共通  
〈研修支援〉

下記のテーマの中からお選びいただけます。各テーマの詳細（個別の内容ページ）については本学Webサイト(www.toyo.ac.jp/s/haken/)に掲載しております。**お申し込みの際は必ず事前にご確認ください。** 申込期間外や本学関連団体（浦水会や校友会支部）は講師派遣制度を利用できません。



## SDGs

(持続可能な開発目標)とは

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



東洋大学講師派遣事業は、SDGs17の国際目標「**4 質の高い教育をみんなに**」を全体の共通目標としております。また、その他の目標に沿った内容のテーマには、上記番号をつけております。

生涯学習支援・研修支援共通

生涯学習支援のみ

研修支援のみ

テーマNo	テーマ名	講師名属	テーマNo	テーマ名	講師名属
A 井上円了・東洋大学			A-生涯-4	井上円了の仏教観	竹村 牧男 前学長・東洋大学名誉教授
A-共通-1	明治の青春群像と井上円了	渡辺 章悟 元文学部	A-生涯-5	今日の高等教育と井上円了の教育理念	竹村 牧男 前学長・東洋大学名誉教授
A-共通-2	哲学館からチベットへ —明治の取経僧・河口慧海と能海寛—	山口しのぶ 文学部	A-生涯-6	井上円了の妖怪学	竹村 牧男 前学長・東洋大学名誉教授
A-共通-3	井上円了の見た世界	山口しのぶ 文学部	A-生涯-7	井上円了の台湾体験	野間 信幸 文学部

テーマNo	テーマ名	講師名属	テーマNo	テーマ名	講師名属
A-生涯-8	哲学館の後継者たちの活躍 ー境野黄洋、高嶋米峰などー	伊吹 敦 文学部	B-共通-28	世界・日本・地域の防災 <span style="color:red">1</span> <span style="color:blue">2</span> <span style="color:orange">11</span> <span style="color:green">13</span>	松丸 亮 国際学部
A-生涯-9	井上円了は何を目指し、何を実現しようとしたか ーその生涯と実践ー	渡辺 章悟 元文学部	B-共通-29	開発途上国の災害・復興と 国際協力 <span style="color:red">1</span> <span style="color:blue">2</span> <span style="color:orange">11</span> <span style="color:green">13</span>	松丸 亮 国際学部
A-生涯-10	井上円了が受けたカルチャーショック ー円了は海外で何を見、何を考えたのかー	渡辺 章悟 元文学部	B-共通-30	開発途上国の環境衛生 <span style="color:green">3</span> <span style="color:blue">6</span>	北脇 秀敏 国際学部
A-生涯-11	井上円了の生涯をかけた熱き闘い ー最後の著作『奮闘哲学』によるー	渡辺 章悟 元文学部	B-共通-31	共生と環境	渡辺 章悟 元文学部
<b>B エネルギー・環境問題・災害</b>			B-共通-32	生物多様性問題とその課題 ーなぜ生物多様性を守らなければ ならないのかー <span style="color:green">15</span>	金子 有子 文学部
B-共通-12	持続可能な資源循環 <span style="color:orange">9</span> <span style="color:green">12</span>	後藤 尚弘 情報連携学部	B-生涯-33	われわれの生活を支える 静脈系インフラの現状と課題 <span style="color:blue">6</span> <span style="color:orange">11</span> <span style="color:green">12</span>	荒巻 俊也 国際学部
B-共通-13	環境に関する講演ー廃棄物、持続社会、 環境とIT、環境コミュニケーション、 温暖化、生物多様性などー <span style="color:green">12</span>	後藤 尚弘 情報連携学部	B-生涯-34	市民が担い手となる地域の 森林と田んぼの保全 <span style="color:orange">2</span> <span style="color:green">3</span> <span style="color:orange">11</span> <span style="color:green">15</span> <span style="color:blue">17</span>	小瀬 博之 総合情報学部
B-共通-14	気候変動対策と市民の役割を考える <span style="color:green">13</span>	小川 芳樹 東洋大学名誉教授	B-生涯-35	木材利用の促進による 脱炭素社会の実現 <span style="color:green">13</span> <span style="color:blue">15</span>	村野 昭人 理工学部
B-共通-15	気候変動問題を考える <span style="color:green">13</span>	小川 芳樹 東洋大学名誉教授	B-生涯-36	エコ活動は環境に優しいのか？ー環境 問題におけるトレードオフを考えるー <span style="color:orange">12</span> <span style="color:green">13</span>	荒巻 俊也 国際学部
B-共通-16	エネルギー問題を考える <span style="color:orange">7</span>	小川 芳樹 東洋大学名誉教授	B-生涯-37	地域脱炭素化の進展と市民の貢献 <span style="color:orange">11</span> <span style="color:green">13</span>	荒巻 俊也 国際学部
B-共通-17	石油価格(エネルギー価格)の 乱高下を考える <span style="color:orange">7</span>	小川 芳樹 東洋大学名誉教授	B-生涯-38	開発途上国の環境問題 <span style="color:green">3</span> <span style="color:blue">6</span>	北脇 秀敏 国際学部
B-共通-18	なぜ今、プラスチックごみ対策？ <span style="color:blue">14</span>	鈴木 孝弘 東洋大学名誉教授	B-生涯-39	物語としての「環境問題」 ー文学・文化研究からのアプローチー	信岡 朝子 文学部
B-共通-19	身近な環境問題「光害」を 考えよう <span style="color:orange">11</span> <span style="color:green">13</span> <span style="color:blue">15</span>	越智 信彰 経営学部	B-生涯-40	環境社会学 ーその魅力と課題ー <span style="color:red">1</span> <span style="color:blue">2</span> <span style="color:green">3</span> <span style="color:orange">7</span> <span style="color:blue">10</span> <span style="color:orange">11</span> <span style="color:green">12</span> <span style="color:blue">16</span> <span style="color:green">17</span>	青木 辰司 東洋大学名誉教授
B-共通-20	電線がなくても電気がつたわる ー空間伝送型無線電力伝送とはー <span style="color:orange">7</span>	藤野 義之 理工学部	B-生涯-41	日本における野生動物問題の 現状について <span style="color:orange">11</span>	室山 泰之 経営学部
B-共通-21	電線・電柱は、何故、埋めたくなるのか	内田 祥士 福祉社会デザイン学部	<b>C 情報社会・メディア</b>		
B-共通-22	マンションの営繕ー既存不適格とは何かー	内田 祥士 福祉社会デザイン学部	C-共通-42	人と人のネットワークが社会を形成する <span style="color:orange">11</span>	中挟知延子 国際観光学部
B-共通-23	ほの字も出ない放射線教育	大辻 永 理工学部	C-共通-43	パブリック・リレーションズ(PR)	藪部 靖史 社会学部
B-共通-24	人間と自然ー防災の観点からー <span style="color:orange">11</span>	大辻 永 理工学部	C-共通-44	社会調査データを使って社会をとらえる ーデータにだまされないでー <span style="color:blue">10</span>	西野 理子 社会学部
B-共通-25	EUの気候変動・エネルギー政策 <span style="color:orange">7</span>	市川 顕 国際学部	C-共通-45	現代社会に問われ始めたデジタルと アナログのコラボカ	浅間 正通 人間科学総合研究所
B-共通-26	EUエネルギー同盟と エネルギー安全保障 <span style="color:orange">7</span>	市川 顕 国際学部	C-共通-46	ネットショッピングの魅力と注意点	長島 広太 経営学部
B-共通-27	コロナ禍とウクライナ戦争を 地方の視点から考える <span style="color:blue">17</span>	市川 顕 国際学部	C-共通-47	「ゲーム依存症」とは何か？ ゲーム研究の観点より	ブリックナー・ステファン 経営学部

テーマNo	テーマ名	講師名属	テーマNo	テーマ名	講師名属
C-共通-48	ゲームから学べるものとは？ 学習ツールとしてのデジタルゲーム	ブリュクナー・ステファン 経営学部	D-共通-68	暑さに負けない身体と生活環境 <b>3 13</b>	加藤 和則 健康スポーツ科学部
C-生涯-49	個人情報保護入門 -どのように守ればよいか-	島田 裕次 元総合情報学部	D-共通-69	もっと詳しく知りたいタバコと発がん <b>3</b>	椎崎 一宏 生命科学部
C-生涯-50	サイバー時代の身の守り方 -何が問題でどのように守ればよいか-	島田 裕次 元総合情報学部	D-共通-70	あまり飲まないほうがいい薬の話 <b>3</b>	鈴木 孝弘 東洋大学名誉教授
C-生涯-51	情報社会と心の教育	浅間 正通 人間科学総合研究所	D-共通-71	量子と医療 <b>3</b>	本橋 健次 理工学部
C-生涯-52	ネットワーク社会における人間関係 -インターネットとケータイが社会を変えた-	海野 敏 社会学部	D-共通-72	世界の病院 <b>3 10</b>	岡本 和彦 理工学部
C-生涯-53	インターネットで変容する コミュニケーションとコミュニティ	戸田 慎一 社会学部	D-共通-73	モバイル・ホスピタル <b>3 10</b>	岡本 和彦 理工学部
C-生涯-54	メディアの歴史と社会の変容	戸田 慎一 社会学部	D-共通-74	名作にみる看護・医療	竹内 清己 東洋大学名誉教授
C-生涯-55	印刷メディアの行く末-ウェブ社会で 新聞・雑誌・本は消えてゆくのか-	海野 敏 社会学部	D-共通-75	「スポーツ」を「人・ヒト」に教えること -他者の運動感覚をどのようにつかむか- <b>3</b>	金子 元彦 健康スポーツ科学部
C-生涯-56	書物と読書の歴史	戸田 慎一 社会学部	D-共通-76	運動のススメ(講義版) <b>3</b>	高橋 珠実 食環境科学部
C-生涯-57	図書館活用法-情報の探し方・調べ方の技術-	戸田 慎一 社会学部	D-共通-77	運動のススメ(実技版) <b>3</b>	高橋 珠実 食環境科学部
C-生涯-58	電子書籍の可能性-amazonの戦略-	濹澤健太郎 経済学部	D-共通-78	(実技版) ニュースポーツ、 パラリンピック種目体験で変わる、 広がる！スポーツの世界、あなたの世界！！ <b>3 17</b>	高橋 珠実 食環境科学部
C-生涯-59	地図の見方-地図投影法を中心に-	政春 尋志 元理工学部	D-共通-79	「オリンピックレガシーについて」 -オリンピック・パラリンピック後について、 私たちが考えなければならないこと- <b>3</b>	谷塚 哲 健康スポーツ科学部
C-生涯-60	情報メディアとコミュニケーション -メディアの文化史-	鈴木 道也 文学部	D-共通-80	オリンピックの歴史	谷釜 尋徳 法学部
C-研修-61	情報セキュリティ入門-企業での対応-	島田 裕次 元総合情報学部	D-共通-81	睡眠の不調への対処と心理支援 <b>3</b>	松田 英子 社会学部
<b>D 健康・運動・医療・食</b>			D-共通-82	空気は誰のもの？ 「香害」について考える <b>3</b>	川瀬 晃弘 経済学部
D-共通-62	毎日の健康と長寿の決定要因は？ <b>3</b>	鈴木 孝弘 東洋大学名誉教授	D-共通-83	植物の研究で食糧問題に挑戦する <b>2</b>	廣津 直樹 生命科学部
D-共通-63	運動効果を得るために知っておきたい 身体の仕組みと運動を続けるためのコツ <b>3</b>	小河 繁彦 理工学部	D-共通-84	食でのびる寿命、縮む寿命 <b>3</b>	芝崎 誠司 経済学部
D-共通-64	万能薬としての運動： ストレスと脳への効果 <b>3</b>	小河 繁彦 理工学部	D-共通-85	やさしい免疫の話	芝崎 誠司 経済学部
D-共通-65	身近な遺伝子組換え食品 <b>2 12</b>	佐々木和生 食環境科学部	D-共通-86	知っておきたい食と体の常識 <b>5</b>	芝崎 誠司 経済学部
D-共通-66	ウイルス排除に大切な免疫力とは <b>3</b>	加藤 和則 健康スポーツ科学部	D-生涯-87	ストレスの本当の姿 -本能と文明の闘い- <b>3</b>	堀内 城司 理工学部
D-共通-67	薬・トクホ・機能性表示と健康食品の違い <b>3</b>	加藤 和則 健康スポーツ科学部	D-生涯-88	脳科学のストレスマネジメント -ストレスを知ってうまく付き合う- <b>3</b>	堀内 城司 理工学部

テーマNo	テーマ名	講師名属	テーマNo	テーマ名	講師名属
D-生涯-89	胸がドキドキの脳科学入門	堀内 城司 理工学部	E-共通-109	コミュニティの活用 ー人のつながりを重視してー	大坪 宏至 経営学部
D-生涯-90	こころのメカニズム	児島 伸彦 生命科学部	E-共通-110	地域包括ケアシステムを どう考えるか	藤林 慶子 福祉社会デザイン学部
D-生涯-91	記憶と忘却のメカニズム	児島 伸彦 生命科学部	E-共通-111	偏見、あるいはアンコンシャス バイアス、女性活躍を考える	北村 英哉 社会学部
D-生涯-92	健康なマチのつくりかた	齊藤 恭平 健康スポーツ科学部	E-共通-112	貧困と克服	井沢 泰樹 社会学部
D-生涯-93	ダイエットのための正しい基礎知識	小河 繁彦 理工学部	E-共通-113	差別と共生	井沢 泰樹 社会学部
D-生涯-94	子供の成長と運動について考える ー身体と脳ー	小河 繁彦 理工学部	E-共通-114	日本の国際化と多文化共生	井沢 泰樹 社会学部
D-生涯-95	書いた文字でこころの不調が測れる!?	川口 英夫 生命科学部	E-共通-115	ダイバシティと日本社会	井沢 泰樹 社会学部
D-生涯-96	食品表示から食の安全・安心を考える	大熊 廣一 東洋大学名誉教授	E-共通-116	人の多様性の理解と共生にむけて	南野奈津子 福祉社会デザイン学部
D-生涯-97	食品の成分を知ること	細谷 孝博 食環境科学部	E-共通-117	日本で生活している難民	荻野 剛史 福祉社会デザイン学部
D-生涯-98	子育て世代の親が知っておきたい 食の安全について考える	大熊 廣一 東洋大学名誉教授	E-共通-118	外国につながるのある子どもと家族	内田 千春 福祉社会デザイン学部
D-生涯-99	食を取りまく環境 ー日本と世界の食糧事情を考えるー	大熊 廣一 東洋大学名誉教授	E-共通-119	外国にルーツをもつ人々の 多様な宗教文化を理解する	高橋 典史 社会学部
D-生涯-100	食のSDGs	大熊 廣一 東洋大学名誉教授	E-共通-120	ロシア語圏移住者でみる 在留外国人コミュニティ	ゴロウナクセーニヤ 社会学部
D-生涯-101	食生活および生活リズムと 健康との関わり	吉崎 貴大 食環境科学部	E-共通-121	ペットへの愛着と悲嘆	佐藤 亜樹 福祉社会デザイン学部
D-生涯-102	睡眠中の夢と心の健康	松田 英子 社会学部	E-共通-122	日本における障がい者スポーツの 現在地を考える	金子 元彦 健康スポーツ科学部
D-生涯-103	認知行動カウンセリングの理論と技法	松田 英子 社会学部	E-共通-123	介護する家族への支援	渡辺 道代 福祉社会デザイン学部
D-研修-104	メンタルヘルス不調の 予兆把握方法の開発	川口 英夫 生命科学部	E-共通-124	「全世代型社会保障」のゆくえ ー福祉国家は終わったか	沼田 良 元法学部
D-研修-105	市町村健康増進計画の策定と評価のコツ	齊藤 恭平 健康スポーツ科学部	E-生涯-125	コロナ禍で見えてくる 日本の貧困問題と社会保障の課題	川原 恵子 福祉社会デザイン学部
E 共生・福祉			E-生涯-126	日本のホームレス問題 ー可視化されにくい女性ー	川原 恵子 福祉社会デザイン学部
E-共通-106	子ども・若者の貧困を考える	森田 明美 東洋大学名誉教授	E-生涯-127	閉じる家族、開く家族 ー家族の歴史の変遷から考えるー	西野 理子 社会学部
E-共通-107	子どもの権利の視点はなぜ必要か	森田 明美 東洋大学名誉教授	E-生涯-128	今日からあなたもヘルプマン! ーカイゴのゴカイー	八木 裕子 福祉社会デザイン学部
E-共通-108	児童虐待時代の福祉臨床学	鈴木 崇之 福祉社会デザイン学部	E-生涯-129	介護する覚悟、介護される覚悟	八木 裕子 福祉社会デザイン学部

テーマNo	テーマ名	講師名 所属	テーマNo	テーマ名	講師名 所属
E-生涯-130	障がいのある人々への虐待防止と人権擁護	是枝喜代治 福祉社会デザイン学部	F-共通-150	分かっていますか？ 「怒る」と「叱る」の違い	3 鈴木 崇之 福祉社会デザイン学部
E-生涯-131	身体は誰のものかー生命と人権ー	吉田 公平 東洋大学名誉教授	F-共通-151	幼児期と多様性理解教育の可能性	3 嶋崎 博嗣 福祉社会デザイン学部
E-生涯-132	人権問題の新局面を考える	吉田 公平 東洋大学名誉教授	F-共通-152	保護者負担教育費と教育を受ける権利	藤本 典裕 文学部
E-生涯-133	社会福祉の意味	1 10 金子 光一 福祉社会デザイン学部	F-共通-153	子どもの貧困	1 2 10 17 南野奈津子 福祉社会デザイン学部
E-生涯-134	福祉サービスの公私関係の変遷 ーイギリスに焦点を当ててー	金子 光一 福祉社会デザイン学部	F-共通-154	日本に暮らす外国人家族と支援	10 南野奈津子 福祉社会デザイン学部
E-生涯-135	社会福祉の歴史を学ぶ意義	金子 光一 福祉社会デザイン学部	F-共通-155	外国にルーツのある 児童と言語教育	3 10 16 ゴウイナクセーニヤ 社会学部
E-生涯-136	戦前日本の救済の歴史	1 金子 光一 福祉社会デザイン学部	F-共通-156	教育現場における 「カルト問題」への対応	3 17 高橋 典史 社会学部
E-生涯-137	戦後日本の社会福祉の歴史	10 金子 光一 福祉社会デザイン学部	F-共通-157	学習と學問ーなぜ我々は学ぶのかー	吉田 公平 東洋大学名誉教授
E-生涯-138	知的障がいのある人々への余暇支援 ースポーツを通じてー	3 志村 健一 福祉社会デザイン学部	F-共通-158	考える楽しさを伝える理科授業	大辻 永 理工学部
E-生涯-139	ユニファイド・スポーツ®ー知的障がいのある人々とのスポーツ活動ー	3 志村 健一 福祉社会デザイン学部	F-共通-159	人工知能時代における 「学力」と「学ぶ意味」	10 斎藤 里美 文学部
F 教育・子ども			F-共通-160	授業支援システムを活用した出欠管理と 授業態度向上への工夫	小山 信也 理工学部
F-共通-140	教育について考えるいくつかのヒント ーぬいぐるみの犬の話ー	藤本 典裕 文学部	F-共通-161	万次郎はいかにして「ジョン・マン」に なったのか	岩下 哲典 文学部
F-共通-141	たかがアニメの教育学ーサザエさん、 ちびまる子ちゃん、クレヨンしんちゃんー	藤本 典裕 文学部	F-共通-162	サイエンティフィックリテラシー	宮西 伸光 食環境科学部
F-共通-142	これから求められる資質・能力と学習活動とは ー新学習指導要領とこれからの学びー	後藤 顕一 食環境科学部	F-共通-163	障害者の生涯学習について考える	宮崎 英憲 東洋大学名誉教授
F-共通-143	子どもの心の成長を支える ー健やかな心、めげない強さー	中原 美恵 東洋大学名誉教授	F-共通-164	構造的テキストデザイン法による 学習教材の作成	長谷川勝久 文学部
F-共通-144	園や学校における相談支援 ー「聴く」技法と「勇気づけ」ー	中原 美恵 東洋大学名誉教授	F-共通-165	教育測定と評価	長谷川勝久 文学部
F-共通-145	今の教育に足らざるもの ーシュタイナー教育を手がかりとしてー	下田 好行 文学部	F-共通-166	S-P表とカリキュラムマップ	長谷川勝久 文学部
F-共通-146	「遊び」の中で育つ学びに向かう力	3 内田 千春 福祉社会デザイン学部	F-共通-167	ハーバード式Zoom授業入門	川瀬 晃弘 経済学部
F-共通-147	子どもの発達と「危ない病」	嶋崎 博嗣 福祉社会デザイン学部	F-生涯-168	赤ちゃんとお出かけ環境	仲 綾子 福祉社会デザイン学部
F-共通-148	“遊び”の応援の仕方	嶋崎 博嗣 福祉社会デザイン学部	F-生涯-169	わが国のしつけを考える・ おたくのしつけも考える	大坪 宏至 経営学部
F-共通-149	子育て支援と地域コミュニティ	1 3 5 11 矢口 悦子 学長	F-生涯-170	現代社会における親と子 ー親にとって子どもとは何かー	3 8 西野 理子 社会学部

テーマNo	テーマ名	講師名 所属	テーマNo	テーマ名	講師名 所属
F-生涯-171	不安定就労時代の親子関係 <span style="color: red;">5</span> <span style="color: red;">10</span>	西野 理子 社会学部	F-生涯-192	イギリス文学・イギリス映画にみる教育 <span style="color: red;">10</span>	井上 美雪 社会学部
F-生涯-172	障がい児・者への発達支援 ー豊かなコミュニケーションを育むためにー	緒方登士雄 文学部	F-生涯-193	認知行動療法に基づいた 子どもの問題行動の捉えと指導 <span style="color: green;">3</span>	松田 英子 社会学部
F-生涯-173	インクルーシブ教育への取組 ー合理的配慮の提供ー	宮崎 英憲 東洋大学名誉教授	F-生涯-194	社会科の指導とアクティブラーニング	栗原 久 文学部
F-生涯-174	インクルーシブ教育推進のための 特別支援教育の役割と課題	宮崎 英憲 東洋大学名誉教授	F-生涯-195	金融経済教育の進め方	栗原 久 文学部
F-生涯-175	特別支援学校でのキャリア教育を考える	宮崎 英憲 東洋大学名誉教授	F-生涯-196	18歳選挙権時代の社会科教育	栗原 久 文学部
F-生涯-176	特別支援教育におけるキャリア発達支援 <span style="color: green;">3</span>	谷口 明子 文学部	F-生涯-197	子どものためのデジタル社会 <span style="color: orange;">11</span>	島田 裕次 元総合情報学部
F-生涯-177	発達障がいのある子どもの理解と支援	是枝喜代治 福祉社会デザイン学部	F-生涯-198	若者たちが地域で生きていくために 何が必要か <span style="color: green;">3</span> <span style="color: red;">5</span> <span style="color: orange;">11</span>	矢口 悦子 学長
F-生涯-178	ムーブメント教育・療法による 子どもの発達支援	是枝喜代治 福祉社会デザイン学部	F-研修-199	乳幼児期からの多文化共生保育・ 教育と異文化理解 <span style="color: red;">10</span> <span style="color: red;">16</span>	内田 千春 福祉社会デザイン学部
F-生涯-179	特別支援教育に生かす体育・スポーツ	是枝喜代治 福祉社会デザイン学部	F-研修-200	保育におけるドキュメンテーションの活用	高橋 健介 福祉社会デザイン学部
F-生涯-180	手のことばで話そう！ ーグローバルコミュニケーション してみませんかー <span style="color: green;">3</span>	八木 裕子 福祉社会デザイン学部	<b>G 地域社会・観光</b>		
F-生涯-181	小学生の読書感想文 ー親が手伝う・教師がしかけるー	片山美由紀 社会学部	G-共通-201	地域社会と多言語コミュニケーション <span style="color: orange;">11</span>	中挟知延子 国際観光学部
F-生涯-182	「外国にルーツを持つ子どもたち」への ことばの教育	平畑 奈美 文学部	G-共通-202	“幸福度”の都道府県格差は？ <span style="color: red;">10</span>	鈴木 孝弘 東洋大学名誉教授
F-生涯-183	正課授業中の事故に対する 学校側の法的責任 <span style="color: red;">16</span>	根岸 謙 法学部	G-共通-203	郷土の先人に学ぶー地域社会の活性化ー	吉田 公平 東洋大学名誉教授
F-生涯-184	部活動中の事故に対する 学校側の法的責任 <span style="color: red;">16</span>	根岸 謙 法学部	G-共通-204	復興小学校のデザイン思想	日色 真帆 理工学部
F-生涯-185	生徒間のいじめに対する 学校側の法的責任 <span style="color: red;">16</span>	根岸 謙 法学部	G-共通-205	ネパールの若者が描く未来 <span style="color: red;">8</span> <span style="color: red;">10</span>	小林 正夫 社会学部
F-生涯-186	教師による懲戒・体罰の枠組み <span style="color: red;">16</span>	根岸 謙 法学部	G-共通-206	ネパールの国際出稼ぎ・移民事情 <span style="color: red;">8</span> <span style="color: red;">10</span>	小林 正夫 社会学部
F-生涯-187	実践的な法教育の紹介 <span style="color: red;">8</span>	根岸 謙 法学部	G-共通-207	最高のホスピタリティを知る ー世界のリーディング・ホテルを通じてー <span style="color: orange;">9</span>	徳江順一郎 国際観光学部
F-生涯-188	大学で何を学んだらよいのか？ <span style="color: red;">8</span>	幸田 浩文 東洋大学名誉教授	G-共通-208	旅館の昔と今 ー変化への対応による明暗ー <span style="color: orange;">9</span>	徳江順一郎 国際観光学部
F-生涯-189	どうして大学にいかなくては ならないのか？ <span style="color: red;">8</span>	幸田 浩文 東洋大学名誉教授	G-共通-209	南イタリアの多文化共生社会 <span style="color: orange;">11</span>	中挟知延子 国際観光学部
F-生涯-190	女性のライフデザイン学 <span style="color: red;">5</span>	堀本麻由子 文学部	G-共通-210	国産レモンブームと町おこし	川久保篤志 法学部
F-生涯-191	アクティブラーニングの実施と検証	澁澤健太郎 経済学部	G-生涯-211	「まちあるき」で地域の魅力を 掘りおこそう <span style="color: orange;">11</span>	小瀬 博之 総合情報学部

テーマNo	テーマ名	講師名属	テーマNo	テーマ名	講師名属
G-生涯-212	地域はあなたの活躍を期待しています。地域活動に参加するための処方箋。 8 11 17	小瀬 博之 総合情報学部	H-共通-232	文化とこころー日本人とは	北村 英哉 社会学部
G-生涯-213	ソーシャル・キャピタルー一人の絆が人生を豊かにするー 11	八巻 節夫 東洋大学名誉教授	H-共通-233	グローバル人材になるための処方箋	浅間 正通 人間科学総合研究所
G-生涯-214	地域資源の再評価と地域の活性化 11	高橋 一男 国際学部	H-共通-234	英語演説を読み解く 5 16	竹野谷みゆき 文学部
G-生涯-215	地域を開く未来世代へのメッセージー30年後の世界を展望しよう!!ー 1 2 10 16 17	青木 辰司 東洋大学名誉教授	H-生涯-235	あなたは気持ちを言葉で表していますか?ーよりよいコミュニケーションを目指してー	坂詰 力治 東洋大学名誉教授
G-生涯-216	農泊と観光の推進ーインバウンド政策の展開に向けてー 8 9 12 14 15 16 17	青木 辰司 東洋大学名誉教授	H-生涯-236	生涯発達のためのストレス・マネージメント 3	緒方登士雄 文学部
G-生涯-217	グリーン・ツーリズムーフェアツーリズムの意義を踏まえてー 3 5 7 8 9 10 13 15 16 17	青木 辰司 東洋大学名誉教授	H-生涯-237	人「間」と空「間」 11	篠崎 正彦 理工学部
G-生涯-218	震災復興支援とツーリズム 1 2 3 7 8 9 10 11 12 17	青木 辰司 東洋大学名誉教授	H-生涯-238	異文化理解のための心理学	平畑 奈美 文学部
G-生涯-219	都市に農のある世界をつくるー新たなまちづくりの意義 1 2 3 7 8 9 10 11 12 17	青木 辰司 東洋大学名誉教授	H-研修-239	DE&I(ダイバーシティ、エイクイティ&インクルージョン)とは 5	加藤千恵子 総合情報学部
G-生涯-220	アジアの街から見た日本 11	篠崎 正彦 理工学部	H-研修-240	ヒューマンエラーと産業事故	喜岡 恵子 総合情報学部
G-生涯-221	ベトナムの日本人街 11	篠崎 正彦 理工学部	H-研修-241	職場の良好な人間関係ーハラスメント防止のためのピアカウンセリングー 3	松田 英子 社会学部
G-生涯-222	オリンピックと観光ー文化振興と復興の観点からー 11	須賀 忠芳 国際観光学部	H-研修-242	職場のメンタルヘルスマネジメント 3	松田 英子 社会学部
G-生涯-223	世界遺産を考える	鈴木 道也 文学部	I 高齢化社会・人生論		
G-生涯-224	地元の再発見と地域資源を活かした観光地域づくり戦略 11	鈴木 鉄忠 国際学部	I-共通-243	中年期におけるキャリアについて考える	室松 慶子 法学部
H 心理・コミュニケーション			I-共通-244	100年人生時代のキャリアの創り方 8	小島 貴子 理工学部
H-共通-225	「聴き上手」になるためにー言葉のボールの受け止め方ー	鈴木 崇之 福祉社会デザイン学部	I-共通-245	これからの人生どう生きるかー現代社会の課題と生き方、井上円了に触れながらー	大坪 宏至 経営学部
H-共通-226	アンコンシャスバイアスの外し方(無意識の偏見と決めつけ)から解放される 5	小島 貴子 理工学部	I-共通-246	年金について考える	川瀬 晃弘 経済学部
H-共通-227	ストレスの心理学 3	谷口 明子 文学部	I-共通-247	わが国の「2025年問題」「2040年問題」を考えるー人生100年時代を生きるためにー 3	高野 龍昭 福祉社会デザイン学部
H-共通-228	ヨガで学ぶメンタルヘルス 3	加藤千恵子 総合情報学部	I-共通-248	これならわかる!最新・介護保険制度! 3	高野 龍昭 福祉社会デザイン学部
H-共通-229	コーチング入門	室松 慶子 法学部	I-共通-249	介護保険制度の賢い使い方	須田木綿子 社会学部
H-共通-230	聴くことと話すこと	吉田 公平 東洋大学名誉教授	I-共通-250	人生後半の幸せ:活動 vs 離脱 3	須田木綿子 社会学部
H-共通-231	企業におけるメンタルヘルス 3	加藤千恵子 総合情報学部	I-共通-251	いつまでも元気に過ごす方法 3	古川 和稔 福祉社会デザイン学部



テーマNo	テーマ名	講師名 所属	テーマNo	テーマ名	講師名 所属
I-共通-252	高齢者施設での事故責任について	太矢 一彦 法学部	J 文学・芸術		
I-共通-253	「ついの住処」とは？ －高齢者の住宅選びのポイント－	太矢 一彦 法学部	J-共通-272	狂言の笑いと禪	原田 香織 文学部
I-共通-254	自宅に住み続けながら、その自宅から生活資金を調達できる！？－リバースモーゲージ契約とは－	太矢 一彦 法学部	J-共通-273	『源氏物語』はおもしろい！ －女房が見た、聞いた、そして喋った－	河地 修 東洋大学名誉教授
I-共通-255	成年後見制度について知る	太矢 一彦 法学部	J-共通-274	『伊勢物語』はおもしろい！ －在原業平とは何者なのか－	河地 修 東洋大学名誉教授
I-共通-256	認知症との上手な付き合い方	3 高鶴 裕介 食環境科学部	J-共通-275	日本古典の王道『古今和歌集』の謎に迫る －天皇と四季と恋－	河地 修 東洋大学名誉教授
I-共通-257	「思いやり」を科学する	浅間 正通 人間科学総合研究所	J-共通-276	漢詩で触れる中国の田園風景、 農民の生活と「盤中餐」の教え	続 三義 元経済学部
I-共通-258	生きがいを探索する	浅間 正通 人間科学総合研究所	J-共通-277	中国近代文化における竹久夢二	大野 公賀 法学部
I-共通-259	実務と教育－自己実現と人材育成－	内田 祥士 福祉社会デザイン学部	J-共通-278	シェイクスピアの世界	五十嵐博久 食環境科学部
I-生涯-260	フローな人生を送るために －「with コロナ」の生き方	八巻 節夫 東洋大学名誉教授	J-共通-279	『ロミオとジュリエット』の考察	五十嵐博久 食環境科学部
I-生涯-261	高齢者の財産管理方法	8 根岸 謙 法学部	J-共通-280	グローバル時代の教養としてのバレエ	海野 敏 社会学部
I-生涯-262	高齢社会の課題と生き方 －井上円了に触れながら－	大坪 宏至 経営学部	J-共通-281	芸術都市ロンドンでの過ごし方 －教養としてのアート－	海野 敏 社会学部
I-生涯-263	認知症の母を12年間介護して	3 中里 巧 文学部	J-共通-282	グリム研究への誘い	大野 寿子 文学部
I-生涯-264	若い時は田舎で、年を取ったら都会で 過ごそう－人生にメリハリを－	11 幸田 浩文 東洋大学名誉教授	J-共通-283	グリム童話と挿絵の黄金時代	大野 寿子 文学部
I-生涯-265	成りたい自分になる方法－過去から 自らのライフパターンを知ろう－	8 幸田 浩文 東洋大学名誉教授	J-共通-284	グリム童話の森を考える	大野 寿子 文学部
I-生涯-266	輝いて生きるための「終活」講座 －自分らしい葬送と生前準備－	3 井上 治代 元ライフデザイン学部	J-生涯-285	能狂言の文化史	原田 香織 文学部
I-生涯-267	お墓からみる家族社会学	3 井上 治代 元ライフデザイン学部	J-生涯-286	詩を楽しむ	近藤 裕子 経済学部
I-生涯-268	死生観なき時代の死の受容 －セルフ・スピリチュアルケアのすすめ－	3 井上 治代 元ライフデザイン学部	J-生涯-287	<恋・愛>の日本文学－現代への架橋－	竹内 清己 東洋大学名誉教授
I-生涯-269	“おひとりさま” & LGBTQの「終活」	5 10 井上 治代 元ライフデザイン学部	J-生涯-288	日本列島－文学文化風土の旅－	竹内 清己 東洋大学名誉教授
I-生涯-270	生きる事は学ぶこと	吉田 公平 東洋大学名誉教授	J-生涯-289	風土と文化	竹内 清己 東洋大学名誉教授
I-生涯-271	自分史を書く意味	文 貞實 社会学部	J-生涯-290	日本の近現代小説に描かれた 社会の在り方(家族、震災など)	石田 仁志 文学部
			J-生涯-291	日本文化への扉としての マンガ・アニメ	3 8 紀 葉子 社会学部

テーマNo	テーマ名	講師名 所属	テーマNo	テーマ名	講師名 所属
J-生涯-292	李白と杜甫	野間 信幸 文学部	K-生涯-312	本当の「豊かさ」とは？ －性善説の人間学－	小路口 聡 文学部
J-生涯-293	ブロンテの世界	江口 智子 生命科学部	K-生涯-313	私たちの生活の中にある「中国」、 あなたはどのくらいご存知ですか？	川崎ミチコ 元文学部
J-生涯-294	ヘンリー・ジェームズと唯美主義	江口 智子 生命科学部	K-生涯-314	インド石窟寺院と壁画	渡辺 章悟 元文学部
J-生涯-295	バレエとダンスへの招待 －ビデオで学ぶ見方・楽しみ方－	海野 敏 社会学部	K-生涯-315	ひつじかいとともに －聖劇の歴史をたずねて－	菊地 章太 健康スポーツ科学部
J-生涯-296	クラシックバレエ鑑賞入門－美の秘密－	海野 敏 社会学部	K-生涯-316	空海の思想について	竹村 牧男 前学長・東洋大学名誉教授
J-生涯-297	宗教と音楽	渡辺 章悟 元文学部	K-生涯-317	良寛の漢詩 十選	竹村 牧男 前学長・東洋大学名誉教授
J-生涯-298	日本の建築と西洋の建築	篠崎 正彦 理工学部	K-生涯-318	コロナ時代の物の見方・考え方 －哲学の知恵と科学の力－	和田 直久 東洋大学名誉教授
J-生涯-299	宮沢賢治とその祈り －民衆救済と自然との共生－	高橋 直美 福祉社会デザイン学部	K-生涯-319	小欲知足の経済学的意味	八巻 節夫
J-生涯-300	日本近代文学に見られる妖怪 －宮沢賢治作品や『遠野物語』から読み解く－	高橋 直美 福祉社会デザイン学部	K-研修-320	世阿弥のこゝば	原田 香織 文学部
J-生涯-301	日本の昔話考	高橋 直美 福祉社会デザイン学部	L 科学・数学		
J-生涯-302	菜の花にかけた蕪村の思い	大辻 永 理工学部	L-共通-321	原子・分子の世界	本橋 健次 理工学部
J-生涯	紫式部の清少納言批判-二人の女房が書き遺したもの-	河地 修 東洋大学名誉教授	L-共通-322	プラズマの科学	9 本橋 健次 理工学部
K 哲学・宗教・思想			L-共通-323	天文学－宇宙－	萩原 喜昭 文学部
K-共通-303	仏教とSDGs －特に食の問題に関して	2 12 竹村 牧男 前学長・東洋大学名誉教授	L-共通-324	放射線を用いた生物資源の拡大	9 鳴海 一成 生命科学部
K-共通-304	空の世界はどこにあるのか	渡辺 章悟 元文学部	L-共通-325	放射線抵抗性細菌の生存戦略	9 鳴海 一成 生命科学部
K-共通-305	『般若心経』の世界	渡辺 章悟 元文学部	L-共通-326	ランダム・ウォークの数学・科学	吉野 隆 理工学部
K-共通-306	ブッダのさとりとその智慧とは	渡辺 章悟 元文学部	L-共通-327	素数の不思議とゼータ関数	小山 信也 理工学部
K-共通-307	日本の戦後処理に与えたブッダのこゝば	渡辺 章悟 元文学部	L-共通-328	中高生からの数学研究法	小山 信也 理工学部
K-共通-308	東南アジアの宗教と文化－インドネシア、 バリ島のヒンドゥー文化を中心に－	10 16 山口しのぶ 文学部	L-共通-329	テレビ番組(「特捜9」「笑わない数学」)の 監修者として思うこと	小山 信也 理工学部
K-共通-309	セレモニー・イベントの真実	16 徳江順一郎 国際観光学部	L-共通-330	糖・糖鎖とは何か	宮西 伸光 食環境科学部
K-共通-310	井上円了の「近代」との格闘	沼田 一郎 文学部	L-共通-331	植物という生き方	13 廣津 直樹 生命科学部
K-共通-311	宗教からみる現代の日本社会	高橋 典史 社会学部			

テーマNo	テーマ名	講師名属	テーマNo	テーマ名	講師名属
L-共通-332	アクアリウムの水草はなぜ水中で生きられるのか？	廣津 直樹 生命科学部	M-共通-352	経済学は役に立つ ーノーベル経済学賞受賞分野の紹介ー	平瀬 和基 経済学部
L-共通-333	細胞社会のコミュニケーション	17 根建 拓 生命科学部	M-共通-353	経済学のフロンティアを普段使いに	佐々木啓介 経済学部
L-共通-334	運動効果は、なぜ筋肉だけでなく体全体にあらわれるのか？	3 根建 拓 生命科学部	M-共通-354	日本の雇用・働き方のこれから	8 久米 功一 経済学部
L-共通-335	なぜストレスはあるのか？ なぜ病気はあるのか？	17 根建 拓 生命科学部	M-共通-355	新しいテクノロジーと これからの働き方・学び方	8 久米 功一 経済学部
L-共通-336	数値の正しい理解とコロナ対策	3 11 小山 信也 理工学部	M-共通-356	働きやすい会社はどこ？ 「女性活躍推進企業データベース」を使おう	5 村尾祐美子 社会学部
L-生涯-337	折り紙や切り紙で幾何学を楽しもう	吉野 隆 理工学部	M-共通-357	為替レートの見方と円の将来	8 9 益田 安良 元情報連携学部
L-生涯-338	身近なかたち「球」を再発見しよう	吉野 隆 理工学部	M-共通-358	株価と金利の見方と展望	8 9 益田 安良 元情報連携学部
L-生涯-339	エッシャーの絵で幾何学を学ぼう	吉野 隆 理工学部	M-共通-359	日本の経済の展望と変革課題	8 9 益田 安良 元情報連携学部
L-生涯-340	四次元空間を想像してみよう	吉野 隆 理工学部	M-共通-360	日本経済の行方ーAI、人口減少は、 日本の経済社会をどう変えていくかー	松原 聡 経済学部
L-生涯-341	ものさしとコンパスで繰り返し模様を描こう	吉野 隆 理工学部	M-共通-361	南アジア3カ国の比較地誌 ー立地と開発戦略ー	8 10 小林 正夫 社会学部
L-生涯-342	大人の理科教室ー 小学六年「ものの燃え方」× ファラデーの「ロウソクの科学」	7 17 寺木 秀一 元文学部	M-生涯-362	現実の経済を経済理論によって 如何に理解するか	斎藤 孝 経済学部
L-生涯-343	大人の理科教室ー再生可能エネルギー 模型の制作ー小学校理科実験はこんなに おもしろかった？ー	7 寺木 秀一 元文学部	M-生涯-363	日本にカジノを作るべきか	児玉 俊介 経済学部
L-生涯-344	大人の理科教室 ーマイクロプラスチックー煮干しの解剖	14 寺木 秀一 元文学部	M-生涯-364	長い目で見た少子高齢社会	児玉 俊介 経済学部
L-生涯-345	大人の理科教室 ーアンモナイトのレプリカづくりを 通して地球の歴史を探ろうー	13 寺木 秀一 元文学部	M-生涯-365	授業料タダはいいことか	児玉 俊介 経済学部
L-生涯-346	知っているようで知らない脳のこと ー誕生から老化までー	3 金子 律子 生命科学部	M-生涯-366	街区(児童)公園の有料化	児玉 俊介 経済学部
L-生涯-347	知っているようで知らない 「ホルモン」のことー健康との関わりー	3 金子 律子 生命科学部	M-生涯-367	効率と公平	児玉 俊介 経済学部
L-生涯-348	植物、その驚きの能力！ ー知られざる植物の世界ー	15 金子 有子 文学部	M-生涯-368	高経年マンションの価値を維持するには	秋山 哲一 東洋大学名誉教授
M 経済・産業			M-研修-369	高経年マンションの価値向上にむけて ー具体的な取り組みをもとにー	11 秋山 哲一 東洋大学名誉教授
M-共通-349	SDGsと環境にやさしいものづくり ーつくる責任とつかう責任ー	12 神田 雄一 東洋大学名誉教授	N 政治・法律・行政		
M-共通-350	新たな日本型ものづくりの創成	9 神田 雄一 東洋大学名誉教授	N-共通-370	日本政治・現政権の直面する課題	薬師寺克行 社会学部
M-共通-351	イノベーションとは何か	17 市川 顕 国際学部	N-共通-371	日本外交の課題	薬師寺克行 社会学部

テーマNo	テーマ名	講師名 所属	テーマNo	テーマ名	講師名 所属
N-共通-372	日本の外交・安全保障政策	薬師寺克行 社会学部	N-共通-393	21世紀の民法と国際化 ー最近の民法改正でどう変わるのかー	12 16 山下りえ子 法学部
N-共通-373	持続可能な地域づくりに向けた 自治体行財政の課題	11 沼尾 波子 国際学部	N-共通-394	With コロナの新しいまちづくり ー孤独・人口・人権	11 沼田 良 元法学部
N-共通-374	労働安全衛生法の基本	8 北岡 大介 法学部	N-共通-395	公契約での入札談合を監視する	11 沼田 良 元法学部
N-共通-375	行政法的喧嘩の作法	10 早川 和宏 法学部	N-生涯-396	気になる身近な財産管理 ー成年後見・相続(遺言)ー	小林 秀年 法学部
N-共通-376	役所の仕事の進め方 ー正しい根拠と手続の確保ー	10 早川 和宏 法学部	N-生涯-397	高齢者の財産管理と民法	小林 秀年 法学部
N-共通-377	「法律」とはどういったものなのか	太矢 一彦 法学部	N-生涯-398	成人年齢引下げと民法	小林 秀年 法学部
N-共通-378	インターネットと法	井上 貴也 法学部	N-生涯-399	日本の領土問題はなぜ解決できないのか ー国際法学の視点からー	齋藤 洋 法学部
N-共通-379	法って何だろう	井上 貴也 法学部	N-生涯-400	法を知って自分を守ろう	10 早川 和宏 法学部
N-共通-380	社会保障を考える	3 伊奈川秀和 福祉社会デザイン学部	N-生涯-401	公文書管理の世界	10 早川 和宏 法学部
N-共通-381	高齢者の自律と保護ー超高齢社会に おいて知っておきたい法律知識ー	3 10 中村 恵 法学部	N-生涯-402	消費者破産とはどのようなものか？ ー破産したときの解決方法ー	櫻本 正樹 法学部
N-共通-382	身近な独占禁止法	多田 英明 法学部	N-生涯-403	企業倒産、企業破産に対する対処法	櫻本 正樹 法学部
N-共通-383	法の経済分析	加賀見一彰 経済学部	N-生涯-404	日本政治の常識と非常識	加藤秀治郎 東洋大学名誉教授
N-共通-384	少額訴訟制度について	清水 宏 法学部	N-生涯-405	選挙制度ーどう考え、何を選ぶかー	加藤秀治郎 東洋大学名誉教授
N-共通-385	民事執行法の改正について ー強制執行手続の改革ー	清水 宏 法学部	N-生涯-406	法律上の親は誰？ ー生殖補助医療と親子関係ー	3 5 10 中村 恵 法学部
N-共通-386	インターネット上の民事紛争の解決	清水 宏 法学部	N-生涯-407	学校事故と法的責任	宮原 均 法学部
N-共通-387	ドーピングについて	16 清水 宏 法学部	N-生涯-408	スポーツと法律のかかわり	16 清水 宏 法学部
N-共通-388	スポーツ仲裁について	16 清水 宏 法学部	N-研修-409	アメリカにおける独占禁止法	宮原 均 法学部
N-共通-389	華人(中国人、台湾人)の死生観と財産相続	後藤 武秀 法学部	○ 歴史		
N-共通-390	華人(中国人、台湾人)の行動原理	後藤 武秀 法学部	O-共通-410	江戸幕府の旗本たち	白川部達夫 東洋大学名誉教授
N-共通-391	「成人年齢の引き下げ」で 何が変わるか？ー契約と社会ー	10 16 山下りえ子 法学部	O-共通-411	江戸時代の百姓の土地所有 ー東アジアとの比較を通してー	白川部達夫 東洋大学名誉教授
N-共通-392	高齢者の財産管理 ー「古い支度」再考ー	3 16 山下りえ子 法学部	O-共通-412	百姓一揆の実像	白川部達夫 東洋大学名誉教授

テーマNo	テーマ名	講師名 所属	テーマNo	テーマ名	講師名 所属
O-共通-413	「頼み」と日本人の歴史	白川部達夫 東洋大学名誉教授	O-生涯-434	イギリスのデパートと日本趣味	道重 一郎 元経済学部
O-共通-414	江戸の将軍たち	白川部達夫 東洋大学名誉教授	O-生涯-435	「江戸無血開城」の真実	16 岩下 哲典 文学部
O-共通-415	東照宮の近代	内田 祥士 福祉社会デザイン学部	P 国際化社会・外交		
O-共通-416	いま平和を考える ー語り継ぐ戦争体験と平和、そして将来ー	16 西川 吉光 東洋大学名誉教授	P-共通-436	世界の多言語な地域社会	中挟知延子 国際観光学部
O-共通-417	ペリー来航と幕末情報社会	岩下 哲典 文学部	P-共通-437	外国人観光客のための多言語への取組	中挟知延子 国際観光学部
O-共通-418	ペリー来航と日本の対応に学ぶ 外圧への接し方	岩下 哲典 文学部	P-共通-438	グローバルってなあに？ ーグローバル時代の考え方ー	大坪 宏至 経営学部
O-共通-419	近代中国の歴史	千葉 正史 文学部	P-共通-439	ツアー・ツーリスト・ツーリズムー近代 ヨーロッパ文学における旅行と観光ー	1 16 市田せつ子 元国際観光学部
O-共通-420	交通がむすぶ東アジアの近代	千葉 正史 文学部	P-共通-440	現代インドの政治と社会	上田 知亮 法学部
O-共通-421	自己と世界の関係	沼田 一郎 文学部	P-共通-441	混迷する日本政治の現状と課題、 そして日本復活の処方箋	1 8 10 西川 吉光 東洋大学名誉教授
O-共通-422	日本・トルコ関係史	三沢 伸生 社会学部	P-共通-442	分裂を深めるアメリカ その現状と今後の進路展望を読み解く	10 西川 吉光 東洋大学名誉教授
O-共通-423	渋沢栄一とその時代	9 坂口 誠 経営学部	P-共通-443	戦争と疫病の世界史	3 西川 吉光 東洋大学名誉教授
O-共通-424	日本人とスポーツ ー江戸庶民のスポーツ文化ー	谷釜 尋徳 法学部	P-共通-444	緊張高まる国際情勢と日本の生き残り戦略	西川 吉光 東洋大学名誉教授
O-共通-425	松尾芭蕉は、本当に健脚だったのか？	谷釜 尋徳 法学部	P-共通-445	日本の安全保障政策	16 西川 吉光 東洋大学名誉教授
O-共通-426	ヨーロッパに生きる古典語・古典文化	曾田 長人 経済学部	P-共通-446	中国の将来、そして米中対立と 台湾問題を考える	16 西川 吉光 東洋大学名誉教授
O-生涯-427	徳川家康とその時代	大野 瑞男 東洋大学名誉教授	P-共通-447	中東・イスラーム世界とは	三沢 伸生 社会学部
O-生涯-428	江戸幕府の成立と徳川三代	大野 瑞男 東洋大学名誉教授	P-共通-448	最近の中南米主要国の政治経済情勢	久松 佳彰 国際学部
O-生涯-429	女たちの江戸時代ーお江と春日局ー	大野 瑞男 東洋大学名誉教授	P-共通-449	欧州連合(EU)統合の現在	多田 英明 法学部
O-生涯-430	元禄の時代ー将軍綱吉と忠臣蔵ー	大野 瑞男 東洋大学名誉教授	P-共通-450	隣国から見たウクライナ戦争	17 市川 顕 国際学部
O-生涯-431	江戸城の歴史	大野 瑞男 東洋大学名誉教授	P-共通-451	多言語国家に見る生活の知恵 ースイスを例にー	10 曾田 長人 経済学部
O-生涯-432	江戸の町と隅田川	大野 瑞男 東洋大学名誉教授	P-生涯-452	開発途上国協力を目指す人へ	3 6 北脇 秀敏 国際学部
O-生涯-433	江戸庶民の旅と歩行	谷釜 尋徳 法学部	P-生涯-453	英米比較文化に探る グローバルコミュニケーションへの眼差し	浅間 正通 人間科学総合研究所

テーマNo	テーマ名	講師名属	テーマNo	テーマ名	講師名属
P-生涯-454	ブラジルから見た日本 <span style="float:right">1 3 16</span>	紀 葉子 社会学部	Q-共通-474	企業におけるコンプライアンス経営の重要性	奥乃 真弓 法学部
P-生涯-455	近代イギリスの社会と文化	道重 一郎 元経済学部	Q-生涯-475	どのような会社に入ったらよいのか？ <span style="float:right">9</span>	幸田 浩文 東洋大学名誉教授
P-生涯-456	近代スポーツとイギリス文化	道重 一郎 元経済学部	Q-研修-476	ダイバーシティ・マネジメント ーリーダーシップのあり方とはー <span style="float:right">8</span>	堀本麻由子 文学部
P-生涯-457	牛が人を食うーアマゾンの 熱帯雨林が燃えるわけー <span style="float:right">1 3 16</span>	紀 葉子 社会学部	Q-研修-477	マーケティング入門	長島 広太 経営学部
P-研修-458	中国人との付き合い方	統 三義 元経済学部	Q-研修-478	インターネット・マーケティング入門	長島 広太 経営学部
Q 企業・経営・ビジネス			Q-研修-479	再入門マーケティング	長島 広太 経営学部
Q-共通-459	あなたがその商品を手にするまで ー消費生活の新時代を迎えてー	長島 広太 経営学部	Q-研修-480	女性のための経営学 ー豊かな人生を過ごすにはー	幸田 浩文 東洋大学名誉教授
Q-共通-460	コンビニエンスストア最新事情	長島 広太 経営学部	Q-研修-481	中小企業の承継問題ー後継者を誰に、 どのようにして継がせるか…ー <span style="float:right">9</span>	幸田 浩文 東洋大学名誉教授
Q-共通-461	広告の役割と付き合い方	長島 広太 経営学部	Q-研修-482	表計算ソフトを使ったランダムな現象の シミュレーション	吉野 隆 理工学部
Q-共通-462	テーマパークの魅力作りとその経営	長島 広太 経営学部	Q-研修-483	内部監査入門 ー内部監査の基本と進め方ー	島田 裕次 元総合情報学部
Q-共通-463	「おもてなし」はホスピタリティ！？ <span style="float:right">16</span>	徳江順一郎 国際観光学部	Q-研修-484	監査の上手な受け方 ー監査時代にいかに対応すればよいかー	島田 裕次 元総合情報学部
Q-共通-464	「消費者と所得」	小川 純生 東洋大学名誉教授	Q-研修-485	不正・不祥事対策入門 ー発生メカニズムと対策ー	島田 裕次 元総合情報学部
Q-共通-465	遊び概念と面白さ	小川 純生 東洋大学名誉教授	Q-研修-486	経理DXからはじめよう <span style="float:right">9</span>	中野 雅史 総合情報学部
Q-共通-466	知らない権利、知らない美德 ー遊び概念視点からー	小川 純生 東洋大学名誉教授	R ことば・語学		
Q-共通-467	企業の社会的責任と会社法	井上 貴也 法学部	R-共通-487	英単語の覚え方 ー英語の特質を活かした効果的な方法ー	室松 慶子 法学部
Q-共通-468	新規事業の考え方 <span style="float:right">9</span>	中野 剛治 経営学部	R-共通-488	1時間でわかる英語学習法！ ー英語学習のウソ・ホントー	古田 直肇 文学部
Q-共通-469	合理的な行動とは ー行動経済学からみた経済合理性ー	久米 功一 経済学部	R-共通-489	学校英語VS実用英語	人見 憲司 東洋大学名誉教授
Q-共通-470	メルカリやると商人か？	遠藤 喜佳 東洋大学名誉教授	R-共通-490	英語と日本語の違い ー異文化コミュニケーションの必要性ー	人見 憲司 東洋大学名誉教授
Q-共通-471	中小企業経営の今と未来 ー時代を創る経営者の姿と企業家精神ー <span style="float:right">9</span>	山本 聡 経営学部	R-共通-491	時事英語に接してみよう	近藤 裕子 経済学部
Q-共通-472	「営繕論ー希望の建設・地獄の営繕ー」 <span style="float:right">11 12</span>	内田 祥士 福祉社会デザイン学部	R-共通-492	英語指導に役立つ発音のポイント	高橋 豊美 法学部
Q-共通-473	100年人生でのリスキリング (新しい学び) <span style="float:right">8</span>	小島 貴子 理工学部	R-共通-493	英語学習に関係する要因について	熊澤 孝昭 経済学部

テーマNo	テーマ名	講師名 所属
R-共通-494	言語テスト理論に基づく テスト作成のコツと分析について	熊澤 孝昭 経済学部
R-共通-495	ヴィジュアル言語 日本語の面白さ	三宅 和子 東洋大学名誉教授
R-共通-496	オンライン・コミュニケーションと日本語	三宅 和子 東洋大学名誉教授
R-共通-497	日本語とジェンダー	5 三宅 和子 東洋大学名誉教授
R-共通-498	ことば遣いと配慮	三宅 和子 東洋大学名誉教授
R-共通-499	綺麗な中国語の発音を身につけるために	続 三義 元経済学部
R-共通-500	日中翻訳を楽しもう	続 三義 元経済学部
R-共通-501	生活に息づく数字	田中 雅敏 法学部
R-共通-502	海外大学・大学院進学希望者のための TOEFL学習	金子 雅也 総合情報学部
R-生涯-503	気になる日本語	木村 一 文学部
R-生涯-504	19世紀の日本語	木村 一 文学部
R-生涯-505	あなたはどんな言葉や言葉の使い方が 気になりますか？－今どきの日本語－	坂詰 力治 東洋大学名誉教授
R-生涯-506	「先生が来た！」－あなたはこんな時どんな 敬語を使いますか－	坂詰 力治 東洋大学名誉教授
R-生涯-507	漢字の魅力を知ろう－漢字の表す姿と形－	坂詰 力治 東洋大学名誉教授
R-生涯-508	世界の中の日本語	平畑 奈美 文学部
R-生涯-509	日本語を日本語で外国の人に教える方法	平畑 奈美 文学部
R-生涯-510	言語教育のための言語学	高橋 豊美 法学部
R-生涯-511	英文法の魅力とは？ －海外留学における英文法の効能について－	古田 直肇 文学部
R-生涯-512	日英語彙比較論－なぜ日本語には漢字があり、 音読み・訓読みがあるのか？－	古田 直肇 文学部
R-生涯-513	国旗の配色と文化	田中 雅敏 法学部

# 2023年度 講師派遣 テーマ一覧 〈SDGs達成学習支援プログラム〉

下記のテーマの中からお選びいただけます。各テーマの詳細（個別の内容ページ）については本学Webサイト(www.toyo.ac.jp/s/haken/)に掲載しております。**お申し込みの際は必ず事前にご確認ください。** 申込期間外や本学関連団体（雨水会や校友会支部）は講師派遣制度を利用できません。



**SDGs**  
(持続可能な開発目標)とは

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



東洋大学講師派遣事業は、SDGs17の国際目標「**4 質の高い教育をみんなに**」を全体の共通目標としております。また、その他の目標に沿った内容のテーマには、上記番号をつけております。

**小** 小学校 **中** 中学校 **高** 高等学校 **縦** 特別支援学校

テーマ No	対象	テーマ名	講師名 所属	テーマ No	対象	テーマ名	講師名 所属
1	<b>小</b> ※	遊びながら、考えよう！ ～障がい理解への扉～ ※幼児(5歳児)～小学校2年生まで	<b>3</b> <b>10</b> 嶋崎 博嗣 福祉社会デザイン学部	4	<b>小</b> <b>中</b> <b>高</b>	食べ物の好き嫌いは なぜ生じるのか？	<b>2</b> <b>3</b> 大瀬良知子 食環境科学部
2	<b>小</b> <b>中</b> <b>高</b>	子どもの貧困	<b>1</b> 南野奈津子 福祉社会デザイン学部	5	<b>小</b> <b>中</b> <b>高</b> <b>縦</b>	宗教文化を学んで日本と世界の 人々についての理解を深めよう	<b>3</b> <b>10</b> 高橋 典史 社会学部
3	<b>小</b> <b>中</b> <b>高</b>	植物の研究で食糧問題に 挑戦する	<b>2</b> 廣津 直樹 生命科学部	6	<b>小</b> <b>中</b> <b>高</b> <b>縦</b>	宗教からみる現代の日本社会	<b>3</b> 高橋 典史 社会学部




テーマ No	対象	テーマ名	講師名属	テーマ No	対象	テーマ名	講師名属
7	小中高	外国人とともに生きる	3 10 16 南野奈津子 福祉社会デザイン学部	21	小中高	(実技版) ニュースポーツ、パラリンピック種目体験で変わる、広がる！ スポーツの世界、あなたの世界！！	3 17 高橋 珠実 食環境科学部
8	小中高	世界の病院	3 10 岡本 和彦 理工学部	22	小中高	ロシア語圏移住者でみる在留外国人コミュニティ	3 10 5 16 8 ゴロウィナクセーヤ 社会学部
9	小中高	モバイル・ホスピタル	3 10 岡本 和彦 理工学部	23	小中高	外国にルーツのある児童と言語教育	3 10 16 ゴロウィナクセーヤ 社会学部
10	小中高	植物という生き方	13 廣津 直樹 生命科学部	24	小中高	開発途上国の環境衛生	3 6 北脇 秀敏 国際学部
11	小中高	日本で生活している難民	1 10 16 荻野 剛史 福祉社会デザイン学部	25	小中高	開発途上国の環境問題	3 6 北脇 秀敏 国際学部
12	小中高	アマゾンで燃えてしまったものは何？	1 11 3 13 10 15 紀 葉子 社会学部	26	小中高	開発途上国協力を目指す人へ	3 6 北脇 秀敏 国際学部
13	小中高	ブラジルのこどもはみんなサッカーが上手なんて、嘘だから	1 16 3 10 紀 葉子 社会学部	27	小中高	ダイバーシティとは: 皆が楽しく過ごせる社会を作しましょう	5 10 加藤千恵子 総合情報学部
14	小中高	ブラジルのシンデレラたち	1 10 3 16 5 紀 葉子 社会学部	28	小中高	EUの気候変動・エネルギー政策	7 13 市川 顕 国際学部
15	小中高	健康診断は誰のため？	3 内山 有子 健康スポーツ科学部	29	小中高	パリ協定って何？	7 14 市川 顕 国際学部
16	小中高	運動と身体: 運動により身体はどう変わるのか？	3 小河 繁彦 理工学部	30	小中高	日本人の働き方はこれからどうなるのか	8 久米 功一 経済学部
17	小中高	食と身体: 食事により身体はどう変わるのか？	3 小河 繁彦 理工学部	31	小中高	未来の仕事 - 新しいテクノロジーとともに働く	8 久米 功一 経済学部
18	小中高	最新の自立支援介護！ 元気を取り戻す科学的介護の実例	3 古川 和稔 福祉社会デザイン学部	32	小中高	どうしてもやってしまう、 どうしてもやめられない - 非合理的な行動について考えよう	8 久米 功一 経済学部
19	小中高	運動の面白さって誰のもの？	3 17 高橋 珠実 食環境科学部	33	小中高	共に生きる社会について考える	10 中塚知延子 国際観光学部
20	小中高	(講義版) パラリンピック種目体験で変わる、広がる！ スポーツの世界、あなたの世界！！	3 17 高橋 珠実 食環境科学部	34	小中高	世界のまちのバリアフリー	10 11 菅原麻衣子 福祉社会デザイン学部

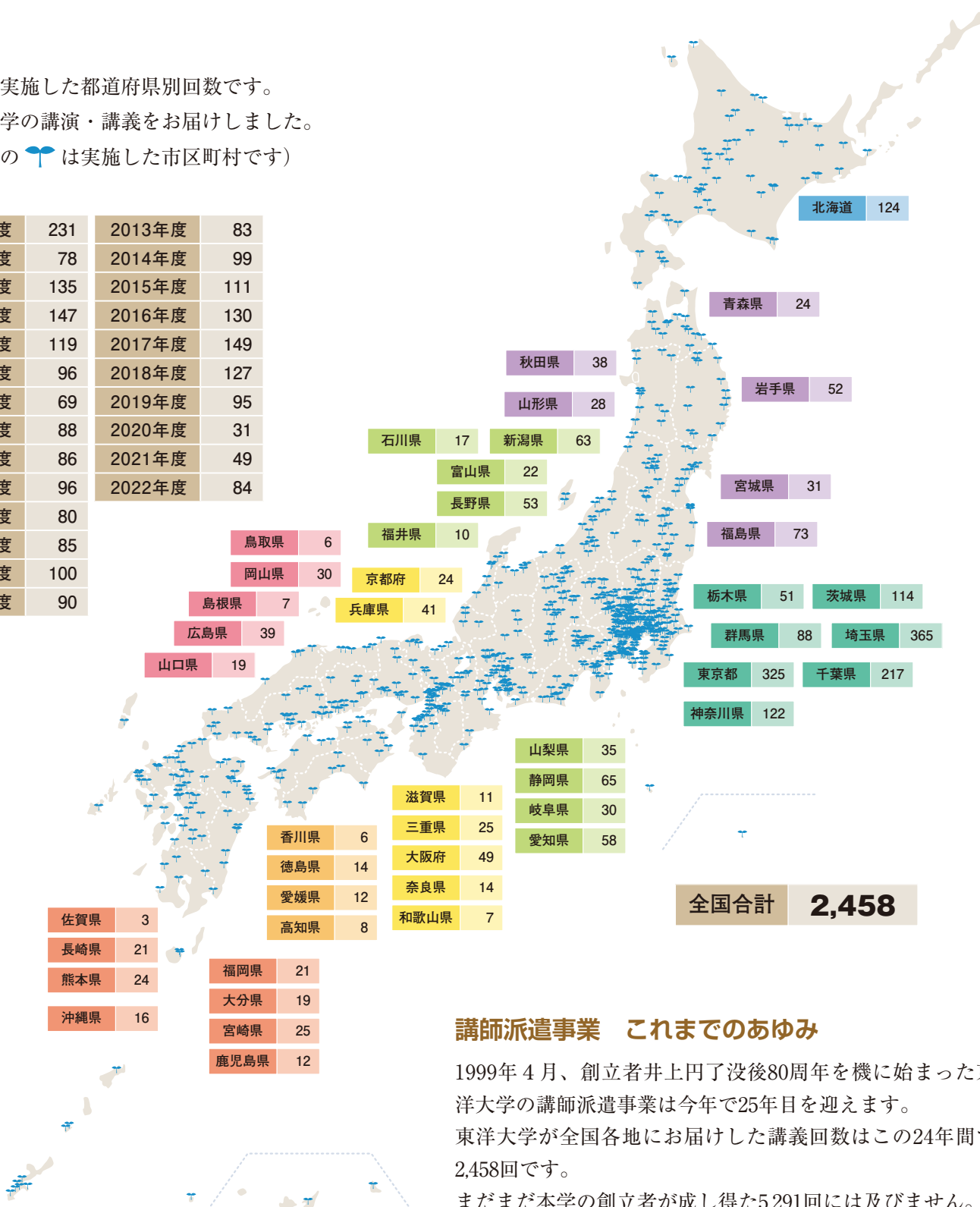
テーマ No	対象	テーマ名	講師 所属	講師 名属	テーマ No	対象	テーマ名	講師 所属	講師 名属
35	小中高	地方創生ってなに？	11	市川 颯 国際学部	49	中高	新型コロナ問題にまつわる 差別や偏見などについて	3 10 5 16 8 17	北村 英哉 社会学部
36	小中高	この地球にさまざまな 生きものがいること	15	金子 有子 文学部	50	中高	偏見、あるいはアンコン シャスバイアス、男女平 等について考える	3 10 5 16 8 17	北村 英哉 社会学部
37	小中高	植物、その驚きの能力！ ー知られざる植物の世界ー	15	金子 有子 文学部	51	中高	大学で学ぶことを経済学で考える	8	川上 淳之 経済学部
38	小中高	みんなで参加して 共生するために	17	市川 颯 国際学部	52	小中高	地域で取り組む カーボン・ニュートラル	11 13	荒巻 俊也 国際学部
39	中高	身近な環境問題「光害」を 考えよう	11 13 15	越智 信彰 経営学部	53	中高	賢く飛ぶ ーよりクリーンで持続可能な 航空旅行を目指してー	7 13	野村 尚司 国際観光学部
40	中	「障がい者スポーツ」を通して 「コミュニケーション」や「会話」 を考えてみよう	3 10	金子 元彦 健康スポーツ科学部	54	中高	個人信用情報から学ぶ 金融リテラシー	8	根岸 謙 法学部
41	中	瓶型ものづくりと 缶型ものづくり	12	内田 祥士 福祉社会デザイン学部	55	中高	高校卒業後に待っている 成年者としての世界	8	根岸 謙 法学部
42	中高	食にみる持続可能な開発	1 10 3 13 8	徳江順一郎 国際観光学部	56	中高	消費者法から学ぶ 消費者リテラシー	8	根岸 謙 法学部
43	中高	エコロジー・リゾートを 通じた観光振興	1 10 3 13 8	徳江順一郎 国際観光学部	57	中高	お金を借りて返せなくなったら どうする？ー夜逃げか破産かー	8 10	櫻本 正樹 法学部
44	中高	ブラジル・アマゾンに おけるアグロフォレストリー	1 15 8 13	小林 正夫 社会学部	58	中高	ダイバーシティと日本社会	10	井沢 泰樹 社会学部
45	中高	ネパール山間地域の課題： 森林再生と人口維持に むけて	1 15 11 13	小林 正夫 社会学部	59	中高	哲学カフェ：ロボットと 暮らす世界を考える	10 16 11 17 12	松浦 和也 文学部
46	中高	ウイルスと戦う免疫の仕組み	3	加藤 和則 健康スポーツ科学部	60	中高	世界の格差と私たちの生活	10 12	井沢 泰樹 社会学部
47	中高	思考力、論理力を鍛える	3 16 5 10	北村 英哉 社会学部	61	中高	電線を考える	11	内田 祥士 福祉社会デザイン学部
48	中高	数値の正しい理解とコロナ対策	3 11	小山 信也 理工学部	62	中高	観光とボランティア	11	中挟知延子 国際観光学部

テーマ No	対象	テーマ名	講師名 所属	テーマ No	対象	テーマ名	講師名 所属
63	中高	持続可能な文化ツーリズム	11 中狭知延子 国際観光学部	77	小中	持続可能な開発ってなに？ ～私たちのまいにちは持続可能なのか？～ 特定のゴールを説明するのではなく、「SDGs的な考え方(back casting)で多様な社会問題を見直してみる」という内容を想定。	米原 あき 社会学部
64	中高	考える力をつける学習	16 北村 英哉 社会学部	78	高	ユニファイド・スポーツ®を知っていますか	3 志村 健一 17 福祉社会デザイン学部
65	中高	「自己中」なボランティアのすすめ	17 須田木綿子 社会学部	79	中高	宮沢賢治作品から 農業の大切さと大変さを学ぶ	1 高橋 直美 2 福祉社会デザイン学部 15
66	中高 絞	人工知能と人間社会	9 佐野 崇 12 情報連携学部	80	小中 高	宮沢賢治童話から 差別やいじめを考える	10 高橋 直美 福祉社会デザイン学部
67	高	健康を守ってくれている 身近な医療機器とは	3 加藤 和則 健康スポーツ科学部	81	小中 高絞	傷ついたDNAを治すタンパク 質を改良して過酷な環境に強く する	3 鳴海 一成 9 生命科学部
68	高	食と健康 ー食生活からの健康な人生ー	3 高鶴 裕介 食環境科学部	82	小中 高絞	極限環境微生物の先端科学を SDGs達成のために活かす	3 伊藤 政博 9 生命科学部
69	高	運動効果は、なぜ筋肉だけで なく体全体にあらわれるのか？	3 根建 拓 生命科学部	83	小中 高	スマホ顕微鏡で地球最強生物 クマムシを観察しよう！	9 伊藤 政博 生命科学部
70	高	「障がい者スポーツ」を通して 「人・ヒト」や「コミュニケーション」 を考えてみよう	3 金子 元彦 10 健康スポーツ科学部	84	中高	社会における法 ー成人年齢の引き下げと 消費者契約ー	12 山下りえ子 16 法学部
71	高	微分・積分と物理学	本橋 健次 理工学部	85	小中 高	物語や映画からみる法律と社会	3 山下りえ子 10 法学部 16
72	高	糖進化から生命進化を垣間見る	宮西 伸光 食環境科学部	86	小中 高絞	空気は誰のもの？ 「香害」について考える	3 川瀬 晃弘 経済学部
73	高	働きやすい会社はどこ？「女性 活躍推進企業データベース」を 使おう	5 村尾祐美子 社会学部	87	小中 高絞	ハーバード式Zoom 授業入門	川瀬 晃弘 経済学部
74	高	細胞社会のコミュニケーション	17 根建 拓 生命科学部	88	高	株式会社と株式投資の仕組み	8 奥乃 真弓 法学部
75	高	なぜストレスはあるのか？ なぜ病気はあるのか？	17 根建 拓 生命科学部	89	小中 高絞	感じ方ってみんな違って 当たり前	3 金子 律子 生命科学部
76	高	ドイツの気候変動対策	13 曾田 長人 経済学部	90	小中 高絞	楽しく学ぼう ～「ホルモン」の働きはすごいよ	3 金子 律子 生命科学部

# 現在の講師派遣 1999年度～2022年度

24年間に実施した都道府県別回数です。  
 全国に本学の講演・講義をお届けしました。  
 (地図上の  は実施した市区町村です)

1999年度	231	2013年度	83
2000年度	78	2014年度	99
2001年度	135	2015年度	111
2002年度	147	2016年度	130
2003年度	119	2017年度	149
2004年度	96	2018年度	127
2005年度	69	2019年度	95
2006年度	88	2020年度	31
2007年度	86	2021年度	49
2008年度	96	2022年度	84
2009年度	80		
2010年度	85		
2011年度	100		
2012年度	90		



## 講師派遣事業 これまでのあゆみ

1999年4月、創立者井上円了没後80周年を機に始まった東洋大学の講師派遣事業は今年で25年目を迎えます。東洋大学が全国各地にお届けした講義回数はこの24年間で2,458回です。まだまだ本学の創立者が成し得た5,291回には及びません。今後も地域と東洋大学をつなぐ創立者の志をお届けしていきたいと思ひます。

お問い合わせ

東洋大学 社会貢献センター (エクステンション課)

[www.toyo.ac.jp/s/haken/](http://www.toyo.ac.jp/s/haken/)

〒113-0021 東京都文京区本駒込1-10-2 東洋大学 浦水会館1階 TEL 03-3945-7624 (平日 9:30~13:00・14:00~17:00)  
 メール [mlhaken-t@toyo.jp](mailto:mlhaken-t@toyo.jp) お問い合わせは、可能な限りメールにてお願いいたします。